

# 緑の風 FAX版

NO. 23  
2017年3月3日  
JR東労組情宣部

3月3日

## JR東労組結成30年



本日、JR東労組は結成30年を迎えました。

1987年3月3日の結成大会で、松崎中央執行委員長（当時）は「健全で対等な労使関係をめざす。（会社の）いいなりになる労働組合運動はやらないし、しない。その意味で、独立した人格を持ち、方針を持ち、力を持って当局（会社）と競うときは競う、というしっかりした関係をつくり上げる。そうでなければ労働組合は不要であり、組合員と家族の利益をまず何よりも考えることが大切だ」（東鉄労新聞第1号より引用）と結成の意義を示し、労働組合の責務を堂々と語りました。

JR東労組結成から30年を迎えた今日、私たちは国鉄改革の精神を継承し、JR東労組結成の原点に立ち返り「抵抗とヒューマニズム」を基軸にしたJR東労組運動を職場・地域からさらに大きく、強く押し進めていくことを全組合員で確認し合おうではありませんか！

**労働組合の原点は組合員・家族の利益を守ること！**  
**安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場をつくるために30年検証運動とJR改革に立ち上がろう！**